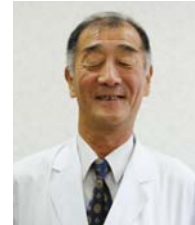


# ともに生きる… Live with すずか

地域の皆さんのお役に立ちたい情報誌

## 新年度に向け、職員全員で 精神科医療サービスの向上を目指します。

創立38年での初の全面新築から丸3年、本誌「Live with すずか」も創刊から4年目を迎えることとなりました。



三重県厚生連  
鈴鹿厚生病院  
院長  
西浦 眞琴

### 新年度へ向けての抱負

当院も早いもので、全面新築から3年が経過し、アメニティの向上はもとより患者さん本意の医療の質の向上をめざして取り組んでまいりました。

近年、病院医療を取り巻く環境はますます厳しさを増し、精神科医療におきましても、最近では病院から地域への流れが本流となり、今後さらに拡充するであろう地域社会資源を基に、患者さんの疾病認識や治療面の向上により、退院促進、社会復帰が進む中、患者さんを地域にて支える福祉面や訪問看護、デイケア等在宅医療

面での充実が進むことと思います。

このような現在の新しい流れは、日本の精神医療が長く心待ちしていた流れと思えますし、病院経営の面では逆風となることもあります。むしろ順風としてとらえ、私たち病院の職員も一丸となって、患者さん、地域の皆さんのためにより良い医療をめざし努力いたす所存です。

今後も新年度に向け、患者さんには一日も早い社会復帰を目指していただけるような質の高い医療の提供を目指すことはもちろん、地域の皆さんにも病院祭などの院内行事を充実させることで、病院をもっと身近に感じていただけるよう職員一同、元気に

がんばる所存ですので、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

### 広報誌「Live with すずか」

当院の理念である「ささえあい、ともに生きる」からネーミングをした「広報誌Live with すずか」も2005年1月に創刊号をお届けし、早いもので丸3年が経過しました。これからも、地域の皆さんにお役に立てる広報誌であり続けたいと思います。ぜひ、ご意見、ご感想など皆さんの声をお寄せください。



### お知らせ！

20年度の広報誌「Live with すずか」は年3回を予定しています。次回の発行は6月の予定です。

## 心の健康セミナー 誌面版

心の健康セミナー誌面版は皆さまに精神科病院や病気などをテーマに沿って毎号連載し解説していくコーナーです。

毎号  
連載!

### テーマ これからの精神科医療 看護とは ～part②～

今号の講師



看護部長  
森中 みゆき

患者さん中心の治療・看護を行うには医療現場で患者さんが何を期待し求めているかを知る必要性があり、当院は数年前から医療サービスの質の向上を目的に、患者さんのアンケートや他面評価を積極的に行い、患者さんのニーズに応えるように努力し、病院のアメニティとしても、平成16年度に全面新築を行い、患者さんが快適な環境で医療サービスが提供できるよう心がけています。国の精神保健医療福祉政策においては、精神障害者を対象とした「医療及び保護」や障害者自立支援法とともに「社会復帰の促進」及び「社会参加の援助」等を目的としていますが、人口当たりの精神病床数は諸外国に比べて圧倒的に多く、現実として社会的入院患者さんが減っていません。それは、地域における生活を支援するための施設やサービス等の整備が十分進んでいないため、患者さんが退院しても行くところがないことや、精神障害者に対する国民の正しい理解が十分とはいえないことも原因のひとつだと思います。

今後の精神科病院の医療・看護とは精神疾患の早期発見と予防、また救急ニーズに対応できる精神科救急システムの確立、精神病床の機能分化、精神医療に関する情報提供、根拠に基づく医療、安全対策の推進等を図っていかなくてはなりません。また、患者さんが地域で安心して生活ができるよう、地域住民の精神障害者に対する理解を深め偏見をなくし、ネットワークサポートシステムの構築を考え、患者さんを支援していくことがこれからの精神科医療、看護が中心になってくるものだと思います。

## 院内百科 vol. 5

### 栄養管理委員会

月1回、行われている委員会で、メンバーは、医師、看護部長、各病棟（主任）、デイケア、薬剤師、作業療法士、総務課、医事課で構成されています。

給食の運営方法、栄養管理科からの連絡事項など各部署にお伝えしています。また、給食について意見交換する場でもあります。皆さんの御意見を取り入れ、より良い栄養管理を行っていきけるよう、活動していきたいと思っております。



ちょっと  
教えて!!

## 「後発医薬品」について お話しします。

「後発医薬品」とは、先発医薬品（新薬）の特許が切れた後、先発医薬品と同じ主成分（有効成分）で同等の効能・効果を持つお薬のことです。「ジェネリック医薬品」とも呼ばれています。

「後発医薬品」は、多額の研究開発費がかからないため、お薬の価格が先発医薬品の7割以下の安い値段がつけられています。よって患者さまが支払うお薬代が一般に安くなるということが利点です。医療用医薬品ですので、処方せんが必要です。まず、かかりつけのお医者さんに相談していただき、そこで医師の処方せんをもらい、保険薬局に持っていき、薬剤師が、「先発医薬品」と「後発医薬品」について、それぞれの特徴や価格などを説明してくれます。すべての先発医薬品に対して「後発医薬品」が発売されている訳ではありません。また、「後発医薬品」は“有効成分”が同じでも、賦形剤や添加物等が各々異なっていることがあり、先発医薬品と比較して、その安定性、体内動態、相互作用や副作用の発現率などで情報が乏しい場合があり、明確な判断ができないこともあります。患者さんは、



技術部長：山川卓哉

薬剤師の説明を参考に、自分に合ったお薬を選択し、その上で「後発医薬品」での調剤を希望する必要があると思います。国の施策として、患者さんの負担軽減や医療保険財政の改善の観点から「後発医薬品」の数量シェアを、現状の16.8%から2012年度までに30%以上にすることを掲げています。その方策の一つとして2008年度の診療報酬改定において、「後発医薬品」調剤における処方箋形式の見直しが検討されています。たとえ、制度が変更された場合でも大切なことは、患者さんには、わかりやすく・負担が少なく・安心・安全な環境の基で治療に専念していただきたいものです。その一助として「後発医薬品」の存在があれば嬉しいと思います。「後発医薬品」についてのご質問やご不明な点がありましたら遠慮なく、薬剤師にお尋ね下さい。



## 牡蠣のクリームシチュー

材料4人分

- 牡蠣.....10~12個
- たまねぎ.....1/2個
- しめじ.....1パック
- ブロッコリー.....1株
- にんじん.....1/2本
- クリームシチュールー.....4かけ(80g)
- 水.....400cc
- 牛乳.....80cc
- 塩・こしょう.....各少々

作り方

- 1 たまねぎは1cm四方くらいの大きさに切り、しめじは小房にわけておく。ブロッコリーは食べやすい大きさに切り、軽く下茹でしておく。にんじんは乱切りにする。
- 2 鍋に油をひき、たまねぎを炒め、しんなりしてきたらしめじとにんじんも加え、炒める。
- 3 水を入れてしばらく煮、牡蠣を入れ再び煮立ったら火を止め、ルーを入れて溶かす。
- 4 ブロッコリーを加え、さらに煮込み、塩・こしょうで味を整える。

### 寒さに負けない!

冬といえば牡蠣の美味しい季節です。焼き物、蒸し物、フライ、鍋料理など、お好きな調理方法があるのではないのでしょうか？牡蠣は「海のミルク」と呼ばれるように、良質のたんぱく質、ビタミン、ミネラルを多く含み、栄養豊富な食材です。消化吸収に優れ、肝機能の向上、高血圧や動脈硬化の予防、疲労回復、体力増進などさまざまな効果に役立ちます。しっかり栄養をとって、寒さに負けず風邪をひかない体づくりましょう。

## ストレスOFF

### 『ちょっといいシネマ』

作品紹介  
事務部長  
小泉 正己

めがね

2007年 日本 106分

監督：荻上直子

主演：小林聡美、市川実日子、もたいまさこ

何かとストレスの多い中で生活する私たちにとって、夢のような物語ですが、観ているだけで気持ち良く、心が癒され、ゆったりとした気分になれる作品です。一昨年話題作「かもめ食堂」のスタッフが、今度はゆったりした空気が流れる南のきれいな海辺の宿にて再び結集。宿の主人、一人旅の女性、ちょっとミステリアスなおばさんなど5人と犬1匹の面々のちょっと可笑しく、心暖かい交流、出てくる美味しそうな食事、難逃れの朝の梅干、一口食べて思わず笑顔のあずき氷、朝のメルシー体操などなど、気持ち良い映像と得た気分の素敵な登場グッズに心も満たされます。忙しい毎日を送っている人、ちょっと疲れたかなと思っている人にはぴったりの作品かも知れません。



## スマイリー ・バトンリレー

### 東3F男女混合の社会復帰病棟

東3病棟のスタッフ

東

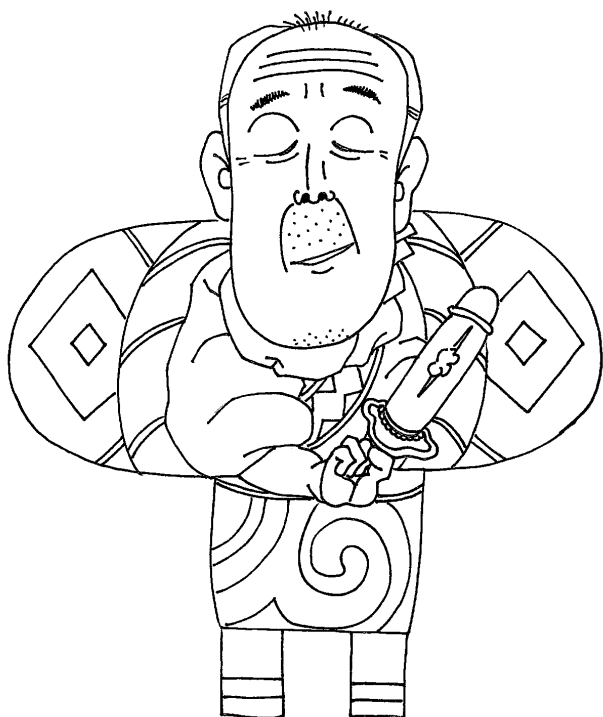
3階病棟は、男女混合の社会復帰病棟です。

20~80才代と年齢には幅がありますが、患者さん本人が望む自立への目標が見つかるよう受持ち看護師が対応し、スタッフ全員でサポート出来る体制を取っております。職前作業・作業グループ・創作・スポーツ等以外に、病棟では、より社会に近づけるようなレクリエーション計画を年間立て実施しております。また、授産施設へ通所している方や看護者も業務内ボランティアをさせていただいております。

vol  
13



ことしの西浦さ〜ん!!!



# にがおえ工房

2月のたこあげ大会であがるかな??!!

ニックネーム: \_\_\_\_\_

本誌へのメッセージ: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

きりとり

## ほっとニュース

### ● 10月20日(土) 病院祭を開催しました!

秋晴れに恵まれ、地元保育園児のダンスが始まる頃には会場は人で埋まりました。当院のチームに加え広く活躍されているよさこい4チームを招いての踊りで雰囲気は最高潮に! マジックショーの不思議な空間、体験コーナーや花・野菜の販売も大盛況でした。模擬店の安くて美味しいうどんなども大好評であったという間に完売! 亀レースやゲーム、アトラクションなどではチビッコの歓声が1日絶えませんでした。この病院祭には毎回、地元社協、自治会、看護学校生をはじめ多くの方々に支えられています。感謝すると共に20回の記念を迎える本年、年明けから動き始めています。



### ● 第1回院内凧揚げ大会

今年度より新たに合同レクリエーションの一環として2月に凧揚げ大会を開催いたします。各病棟での自慢の凧を当院グラウンドにて見事あげることはできるか……。当日は模擬店、バンド、よさこいなどのイベントも予定しております。皆さんふるってご参加ください。※寒い時期です各自防寒対策をお願いいたします。

## ● 外来診療担当医表 (鈴鹿厚生病院)

		月	火	水	木	金
午前	初診	高山	中瀬	小野	野村	川喜田
	再診	中瀬	川喜田	川喜田	西浦	
	再診		山本		中瀬	
午後	初診	中澤	宇野	林	西村	14時~ 山本
	再診	小野	西浦		高山	
	再診	西村				

## 理念 ささえあい、ともに生きる

### 基本方針

- 患者さまや地域の皆さまに、信頼され選ばれる病院づくりを行います。
- 患者さまが地域で快適な生活が送れるよう、積極的にサポートします。
  - 患者さまの人権を尊重し、きめ細かく配慮します。
  - 患者さま一人一人の治療プランに添った医療を行い、一日も早い家庭・社会復帰を目指します。
- 地域におけるメンタルヘルズに積極的に取り組みます。
  - 医療の質向上に向けて日々研鑽を積みみます。

## 編集

## 後記

今号は「新年度へ向けての抱負」などをお伝えしました。さて、広報委員スタッフは「Live With すずか」の名のとおり、皆さんと一緒に創っていきたいと考えています。本誌へのご感想や、ご要望・ご意見がございましたらお気軽にご連絡ください。

TEL・059-382-1401 (代表) FAX・059-382-1402  
Eメール・info@skh.miekosei.or.jp